

農林大学校だより

# sinrei 榛 黎

第76号

令和6年3月22日  
発行

群馬県立農林大学校

〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西明屋1005  
TEL: 027-371-3244 FAX: 027-371-6968  
<http://www.pref.gunma.jp/site/nourindai/>

全力で駆け抜けた  
2年間



令和5年度四県農業大学校親善スポーツ大会  
(令和5年10月13日開催)

みんな大谷選手  
になれる？

校長  
小沼 義晴



2年生の皆さん、社会人コースの皆さん卒業おめでとうございます。そして、農業実践学校の野菜専門技術コースを修了した皆さん、修了おめでとうございます。

さて、野球日本代表の大谷選手が昨年のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）決勝前に語った「懂れるのをやめましょう」の言葉は記憶に新しいところですが、私にはこの言葉は、「『懂れるのをやめましょう』と自分に言えるところまで、努力しましょう」と聞こえるのです。

人はそれぞれ、努力すれば達成できる一つ上のステージ（目標）がありますが、目標達成のためには、①今日できることは今日のうちに、②日々の努力を惜しまない、③継続する、といった簡単に思えることの積み重ねが大事であると考えます。

自分なりに努力して初めて、「相手が自分より勝って見えるとしても、普段通りの力を発揮すれば、相手より勝つこともある」と思います。

そして、世の中は目まぐるしく変化しており、農林業も着実に環境負荷低減・資源循環型農林業へと向かっています。こうした世の中の流れにも敏感であり、自分の頭で考えながら、新しいことにも果敢にチャレンジして欲しいと思います。

新型コロナウイルスも感染法上の分類が5類へ移行し、日常が戻りつつある今日、農林大で培った「実践力」と「人間力」を今後の人生の中で、大いに発揮して頂きたいと思います。皆さんの活躍を期待しております。

## 一つ一つが パズルのピース

後援会 会長  
中嶋 美紀



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。  
2年間の学校生活では、農業実習、当番業務、学校行事、寮生活、課題研究等、充実した時間を送れたのではないのでしょうか。中でも寮生活では、家族のありがたみや人間関係の難しさなど、他では学べない貴重な体験ができたことと思います。この農林大学校で仲間と切磋琢磨しながら成長できたことは、強く記憶に残るでしょう。多くの面で成長した皆さんの姿を見て、保護者として大変嬉しく頼もしく感じています。校長先生をはじめ教職員の皆様の熱心なご指導に、心より感謝申し上げます。

この春から社会の一員になる皆さんは、これから仕事や生活をするうえで様々な経験をするでしょう。中には自分には関係のないと思うこと、役に立たなそうなこと、自信がないことなど、避けたいことがたくさんあると思います。しかし、いろいろな経験をする中で多くのことが学べるはずで、誰でも失敗したくないと思うものですが、次に必ず活かせると前向きに考え、たくさんのごことに挑戦して行って欲しいです。成功も失敗も一つのパズルのピースであり、その一つ一つを集めることが自分の成長や豊かさにつながるのではないのでしょうか。

最後になりますが、卒業生の皆さんのご活躍と、校長先生並びに教職員皆様方のご健康と農林大学校のご発展をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

## 保護者からの一言



卒業おめでとう

長谷川 まどか

学校生活、寮生活へ期待と不安でいっぱいだった2年前。

卒業を迎える今、楽しく過ごすことができましたか？  
きっと楽しいことばかりでなく、課題や実習、早朝や暑い中、寒い中での作業。

大変なこともたくさんあったかと思いますが。

これから先もいろんな事があるかと思いますが、学校で学んだこと、楽しかったこと、辛かったこと、いろんな想いを胸に自分なりの一歩を、勇気を持って踏み出してください。

最後になりましたが、2年間、ご指導いただきました先生方、関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。



卒業おめでとうございます

萩原 枚子

新しい世界へ羽ばたく卒業生のみなさん。

どんなことを学べるだろうと希望にあふれ、寮生活に不安を抱きながら入学して早くも2年が経ちました。

1年生の時は、まだまだコロナの影響が大きく、予定していた行事や寮生活が出来なくなったこともありましたが、振り返ってみた時、それも良い思い出となっていることでしょう。この2年間、楽しいことばかりではなかったと思いますが、起こった全てのことが経験となり、これからの人生の役に立つと思います。

農林大学校で学んだことを糧に、また、思い出を共有できる友達をお守りとして、これからもそれぞれの道で頑張ってください。

お世話になった先生方、関係者の方々、ご指導いただきまして、ありがとうございました。

最後に…笑顔は自分自身を癒し、周囲の人々を幸せにします。いつでも笑顔を忘れずに、背筋を伸ばして歩いて行ってくださると信じています。

ご卒業おめでとうございます。

# 卒業おめでとう



野菜コース



花き・果樹コース



酪農肉牛コース



農と食のビジネスコース



森林コース



社会人コース

## 学校生活の思い出



野菜コース2年  
藤澤 怜也

私は、農林大の2年間でたくさんのことを学び、多くの思い出を作ることが出来ました。

私は家が非農家のため、入学当初は実習や授業についていけないか不安でしたが、仲間の協力や支えがあり、学校生活が楽しいものになりました。

学校生活で一番印象に残っている思い出は、榛の木祭です。私たちは新型コロナウイルスの影響で、高校時の行事をあまり経験することができませんでした。そのため、農林大での学校行事がとても新鮮に感じられました。榛の木祭は、外部の方を招いての行事だったため、準備が大変でしたが、先輩に教えてもらったり友人たちと協力したりして仕事をこなせました。大変でしたが学べることも多く、楽しかったです。

2年間という短い学校生活を振り返ると、多くの友人や先生方に支えられて卒業を迎えることができたのだと実感しています。この思い出や学んだことを卒業後も活かしていきたいと思います。



花き・果樹コース2年  
加藤 望玖斗

入校前は、不安でいっぱいでした。しかし、蓋を開けてみれば、楽しい2年間でした。

印象深い思い出は、真冬に果樹現場で流しそうめんをしたことです。先輩を喜ばせようと竹を切って運び、当番の空き時間や放課後も準備して行った流しそうめんは、全員が笑顔になり、疲れが吹っ飛ばぐらい楽しかったです。内緒だったのになぜか横田部長が来て食べていました。

また、果樹専攻では仲間にも恵まれました。就職面接の猛特訓をしてくれた鬼コーチの川田君、私の卒論を心配していたのに結局完成は最後の伊藤君、私の天然ボケを鋭く突っ込む阿佐見さん。みんなありがとうございます。後輩の二人、果樹を頼みます。

私が運搬車で資材庫に突っ込みそうになり発狂していた三上先生、元旦の当番でケーキをくれた相澤先生、就職を気にかけてくれた、みかん早食いの斎藤学科長。ありがとうございました。

これからは、社会人として一人前になれるよう精進します。お世話になりました。



酪農肉牛コース2年  
谷津 大樹

入校したてのはじめの頃は、寮生活や学習面、朝の経営当番など不安なことはいっぱいでしたが、周りの人の助けもあり、楽しく充実した2年間を過ごすことができました。

私は、この学校生活の思い出で特に心に残っていることが二つあります。一つ目は、寮生活で友人たちとバカ騒ぎをしたことです。一つの部屋に集まってゲームをしたり、「鍋パだ! タコパだ!」といって食材を持ち寄り作って食べたり、とても楽しい時間を過ごしました。二つ目は、自治会役員として様々な行事に関わったことです。イベントの準備などは、今までに経験がなく知らないことばかりで大変でしたが、自分が運営に携わったことが成功すると大きな達成感を得ることができました。

農林大で培ったコミュニケーション力や挑戦する心を持って、これからの人生に役立てながら頑張っていきたいです。また、課題研究や卒業論文では、先生方に大変お世話になりました。本当にありがとうございました!



社会人コース  
伊舟城 大生

農家を志していながら農業の知識のなかった私にとって、すごく充実した一年になりました。午前の講義では、農業の基礎となる知識について一年を通して学び、卒業後の農業経営に活かすことのできる知識を蓄えることができました。午後の実習では、露地・施設それぞれの実習に参加できたことで、どんな農業をしようか、主に何を育てるのか、どんな作物を育てるのが得意なのか、体験として知ることができました。また、農業を学んでいる若い学生たちと交流しながら学ぶことができたことも、モチベーション向上や知識の共有の機会となり、良い刺激を受けることができました。また、体験学習や校外学習などで、個人では見学や訪問の難しい場所や機関に訪れることができ、農林大学校のおかげで得ることのできた知見や体験がありました。

一年間という短い期間の中で、充実した学生生活を送ることができました。ありがとうございました。



農と食のビジネス  
コース2年  
高橋 優心

私は農林大学校で多くのことを学びました。農林大学校に入学して初めの頃は、農業についての知識が少なく授業についていけない不安でしたが、同じコースの仲間たちと協力しあうことで、農業に関する知識が身に付き成長することができました。また、寮生活では他のコースとの関わりもあり、夜に集まって談笑したり未来のことについて熱く語り合ったりしました。他にもゲームをしたりして、毎日充実した学校生活を送ることができました。寮生活を送ることで、家ではしない気遣いや掃除、洗濯などをするようになり、生活していく上で必要なスキルがアップするとともに、自立と協調性を育むことができました。

授業でも寮生活でも楽しいこと、大変なことがたくさんありましたが、同じコースの仲間たちや先生方に支えられたおかげで最後まで充実した生活を送ることができました。

二年間、素敵な時間と貴重な体験をありがとうございました。



森林コース2年  
富川 優太

私は、この農林大の二年間で森林について学びました。元々自然に興味がありましたが、普通科高校の出身であるため入学当初は不安もありました。しかし、個性豊かなクラスメイトの支えもあり、当初の不安はなくなってきました。森林コースでは、森林・林業について座学と実習を交え学びました。実習では尾瀬ヶ原を中心とした豊かな自然や、実際の林業現場を見学することができ、どれも良い思い出となっています。その中で治山についての授業があり、実際にダムや治山堰堤を見学したことにより土砂災害に興味を持ち、それらに携わりたいと思いました。

振り返ってみると、あっという間の学校生活でした。農林大での生活を通して、人間として大きく成長できたと思います。これからも森林土木を通して、豊かな森林と人々の生活を災害から守っていける人間になれるよう、精進していきたいと思っています。最後に自身が夢を持つきっかけをくれた農林大の先生方と、クラスメイトに感謝を伝えたいです。本当にありがとうございました。

# 在校生からのメッセージ



先輩方の背中を追って  
野菜コース1年 金田 真熙

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。実習や当番、学校行事、寮生活など様々な場面で先輩方には大変お世話になりました。初めての实習で農作業を行った際、緊張と知識不足で何をしたらよいか戸惑う私たちに、先輩方は一から丁寧に作業を教えてくださいました。学校行事では、準備から当日まで私たちを力強くリードして下さい、最高の思い出を作ることができました。また、寮生活でも気軽に話しかけて下さり、日々の生活が楽しく充実したものとなりました。私たちも先輩方のように農作業を正確に効率よくこなし、新1年生から気軽に話しかけてもらえるような頼れる上級生になれるよう、これからも努力していきたいと思ひます。

就農して日本の農業を引っ張っていく方、就職して社会人として活躍していく方、進学する方など、先輩方一人一人の進む道は違うと思ひますが、私たちにとっては皆さん全員が憧れの存在です。先輩方が社会で活躍する姿を目標に、私たちも早く先輩方に追いつけるよう頑張ります。1年間、本当にありがとうございました！



頼もしかった先輩  
花き・果樹コース1年 茂木 菜々美

2年生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。先輩方には、普段の実習をはじめ、経営当番や学校行事など様々な場面でお世話になりました。

花き専攻の活動で記憶に残っているのは榛の木祭です。模擬店でチョコバナナを作ったこと、ステージイベントで先輩方や先生と花束作りができたことは、とても良い思い出になりました。準備から当日まで、先輩方の明るい雰囲気の中で一緒に経験することができて本当に良かったです。

果樹専攻の先輩方とは、特に専攻前の実習でお話しする機会がありました。先輩方はいつも自発的に行動されていて、仲の良さそうな雰囲気がとても印象的でした。緊張していた時に気軽に話しかけて下さり、リンゴの摘果など作業が分からない時には丁寧に教えていただくなど、先輩方とお話しできて嬉しかったです。

最後になりますが、先輩方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。一年間ありがとうございました。



先輩との思い出  
酪農肉牛コース1年 新保 奏太

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方には実習や当番だけでなくプライベートでも大変お世話になりました。農林大でのウシの管理など、右も左もわからない私たちに丁寧に作業の仕方やコツを教えてください下さったおかげで、今では効率よく的確に動けるようになったと感じています。これからできる後輩たちに大きな背中を見せられるような上級生になるため、仲間と協力しながらより一層努力していきたいです。先輩方と過ごした笑いの絶えない日々は毎日楽しく、あっという間の一年でした！

先輩方が卒業されることに寂しい気持ちがありますが、実習に取り組む姿勢やウシに対する熱意を受け継いで、私たちが後輩に繋いでいけるよう頑張ります。

これからは、それぞれの進路で嬉しいことや、一方で試練もあるかもしれませんが、農林大で培った力や出会った仲間との思い出を胸に頑張ってください。最後になりますが、先輩方のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



今までありがとうございました  
農と食のビジネスコース1年 石坂 漣

2年生の皆様ご卒業おめでとうございます。約一年間という短い時間でしたが、お世話になりました。思い返すと、この一年間は本当に一瞬で、自分にとって先輩達と過ごした時間は笑顔が絶えず、とても楽しいものでした。先輩達と一緒に生活する中では、実習の大変な合間に少し話かけてくれたり、放課後いるんな所に連れて行って楽しませてくれたり、みんなで入る風呂でお話したり、優しく接してくれる先輩達には「尊敬」しかありません。これ以外でも色々教えてくださいました。率先して行動してくれたり、「やっぱり先輩ってすごいんだな」と思いました。

次は自分達が先輩になります。先輩達みたいに自分達も後輩に優しく接してあげたいです。先輩達は卒業してそれぞれが違うスタートラインに立ちます。新しいことへの不安などはもちろんあると思ひます。でも、私たちが先輩達のことを応援しています。どんなときでも頑張ってください！今まで本当にありがとうございました。



先輩方と過ごした一年間  
森林コース1年 児嶋 俊哉

2年生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。短い間でしたが本当にお世話になりました。

今年度は、新型コロナウイルスの位置づけが変わり、公私ともに先輩方と交流する機会が増え、とても充実した日々を送ることができました。学年別の実習が多く、普段一緒にすることが少ないですが、榛の木祭では先輩方と力を合わせて設営をし、きのこどんや焼き芋作りを成功させることができ、先輩方との絆が深まったと思ひました。また、個人的にも慣れない寮生活で不安を抱えている中、一緒におしゃべりをしたり、買い物や食事に誘ってもらったりして不安が解消され、寮生活が楽しいと思えるようになりました。優しく気さくな先輩方と過ごした時間は宝物です。先輩方に教えてもらったことを来年度入学してくる後輩たちに教えていきたいと思ひています。先輩方が卒業してしまうのは寂しいですが、卒業後も頑張ってください。一年間ありがとうございました。

# 農林大学校の一年

5月



## 榛名登山

花き・果樹コース1年 渡邊 千紘

「榛名登山」って山に登る?歩く?走る??全く想像が付きませんでした。

本番当日、5月なのに異常な暑さであったものの良い天気恵まれました。農林大から榛名湖までの13kmは、当然ながら常に登り坂でした。絶対に歩かないで頑張ろうと思いましたが、傾斜がすごく、暑さに心も折れ、日陰だけは走ろうと決めて頑張りました。ゴールに近づくと、急傾斜になり、疲労に負けてしまいそうでしたが、自転車に乗っていた方が、「もう少しだから頑張れ!」と声を掛けてくれて、なんとか奮起しゴールまでたどり着きました。とても大変でしたが、ゴールで先輩が迎えてくれて、とても嬉しかったです。後からゴールしてきた学生もみんな素敵な笑顔でした。とても楽しい榛名登山になりました。

女子の部では、果樹専攻の学生が私を含め、3年連続で一位になりました。来年はもっと体力をつけて、目標である2時間を切り、4年連続一位を取れるように頑張りたいです。

6、10、12月



## イオン販売会

農と食のビジネスコース1年 大谷 依吹

イオンスタイル高崎での販売実習は、私たち学生が日々の実習で育てたその時期の旬の農産物や、それら(農林大産の野菜や小麦、果樹等)を使った加工品を販売します。農と食のビジネスコースでは、販売に向けて、お客様が美味しく安心して商品を買って頂けるよう試行錯誤を繰り返しながら加工品を作成しました。また、販売会までの準備として、完成した加工品の原価計算、レジ打ちの仕方、お客様への接し方などの確認も行いました。

当日は、開店準備の時からお客様が並んでおり、その中には常連の方々もいて、農林大学校が今まで地域の人々との間に築いてきた信頼関係を実感しました。その他にも、レジ打ちの際に緊張して慣れない私たちにお客様は「ゆっくりでいいよ」と優しく声をかけてくださった事が嬉しく、今まで大変だった準備も無駄ではなかったと思えました。

今回学んだことを次にも活かせるように頑張りたいと思います。

10月



## 四県農業大学校親善スポーツ大会

森林コース2年 石黒 青

新型コロナウイルスの影響により、5年ぶりの開催となった四県農業大学校親善スポーツ大会は、私たち群馬県が幹事校となって運営し、私はバレーボールの選手として出場しました。最初は、普段関わることの少ない他のコースの仲間たちとチームを組むことになるため少し不安もありましたが、自身の呼びかけにも皆が気軽に応じてくれて夏休みごろから定期的に練習を行いました。バレーボール経験者はほとんどいみせんでしたが、互いに教えあったりした結果、自身も含め見違えるほど上達していきました。

そして迎えた大会当日。全員で声を張り上げ全力を尽くしましたが、あと一步及ばず結果は準優勝でした。悔しさもありましたが、その後すぐ各県で合同チームを組んで試合し、お互いの学校生活についても語り合いました。優勝を掴むことはできませんでしたが、仲間たちと練習に励み力を合わせて勝負に挑んだこと、同じ農林業を志す同世代とこの大会を通して出会えたことは、私にとって非常に大きな思い出となりました。

11月



## 榛の木祭

野菜コース2年 横坂 拓真

11月11日・12日、榛の木祭が盛大に開催されました。新型コロナの影響で縮小開催が続いていた榛の木祭ですが、今年は社会全体がコロナ以前の状況に戻つつある中での開催となり、当日は、それはもう大変な賑わいをみせました。まさに「榛の木祭が帰ってきた!」といった感じでした。

一日目は、一般来場者向けの販売会やイベントなどを行いました。販売会では、準備していた野菜、花、果樹、加工品たちが瞬く間に売り切れ、数時間でほぼ完売となってしまいました。イベントでは、餅つきやチェンソーデモ、子ウシとのふれあい体験などが行われ、どれも大好評でした。

二日目は、学生向けのステージイベントを行いました。わんこソバやミカン早食い、カラオケ、大喜利、女装コンテストなど、学生みんなで大いに盛り上がることができ、最高の思い出を作ることができました。

榛の木祭は本校最大のイベントです。来場者、学生、職員、榛の木祭に関わる全ての皆さんの思い出に残るイベントとなるよう、来年度も在校生を中心に頑張ってください。

12月



## 代表課題研究発表会

酪農肉牛コース2年 小林 友那

12月14日、群馬会館ホールにて代表課題研究発表会が行われました。全コースの2年生から選ばれた代表学生7名が発表に挑みました。農林大学校で学んだことや、現在の農林業を先進させていくために選定した課題について試行錯誤を繰り返して、1年間研究した成果を大きな舞台上で発表しました。発表内容は、果実の顆粒肥大技術や有機質肥料、GPSなど現場での課題や最先端の研究まで、幅広くコースごとに特色のあるものでした。私は、畜産を中心に勉強をしているので、全く知らない分野の発表は難しく感じましたが、興味深いものが多くとても勉強になりました。

私は、環境に配慮した家畜飼料に関する発表を行いました。研究を進めていく中で先生や友人、県内の食品製造企業など、沢山の方々に協力して頂きました。私一人の力では、成し得なかった研究をコース代表として発表できたことは、とても嬉しく誇りに思います。卒業後は、今回の課題研究に取り組んだ経験を活かして精進していきたいです。

# 職員からの贈る言葉



## 経験を糧にススメ!

酪農肉牛コース長  
横澤 将美

ご卒業おめでとうございます。農林大での2年間という時間は、あっという間ではなかったでしょうか?過ぎた時間が一瞬に感じて、ここで過ごした時間は非常に尊いものだったと思います。

皆さんがこれから活躍する社会では、仕事上の問題、人間関係、社会問題や環境問題といった、「正解のない答え」を解かなければならない難しい課題に直面することと思います。その時、解決のため正しい答えだけを見つけていくと、失敗することがあるかもしれません。しかし、その失敗は単に失敗でなく、「良き経験」です。農林大で培った経験やスキルが必ずその失敗をチャンスに変えると思います。何事にも自信を持って挑戦してください。

これからは今までと環境が大きく変わりますが、不撓不屈の精神で、ここで出会った仲間、そして、これから出来る仲間を大切に素敵な人生を歩んでいってください。



## 尊敬の念が大切です

農と食のビジネスコース長  
井上 佳奈子

ご卒業おめでとうございます。農林大での2年間はいかがでしたか。

今年度から配属の私でも、スポーツ大会での真剣な姿、榛の木祭での頑張りと、大変だった課題研究等々、あれこれ思い出されます。

一方、皆さんは、学生生活が終わってしまう寂しさ、今後の生活への不安と期待が複雑に混ざりあった気持ちではないでしょうか。

そんな皆さんへの饒として、社会に出ていく上で私が大切だと思っていることを一つあげたいと思います。それは相手への「尊敬」の気持ちです。

まず、これから社会に出て出会う顧客・上司・同僚等、色々な人の話を聞いてください。相手を知っていくようになると、必ずすごいと尊敬できる部分が見つかります。尊敬できる相手に失礼な言動は自然と少なくなりますので、人間関係はうまくいきます。尊敬できる面を見つけるために、まずは恐れずよく話を聞いてみてくださいね。

## 自治会役員を紹介

今年度から新型コロナウイルス感染症の位置付けが変わり、コロナ禍以前の生活に戻りつつあります。自治会役員一同、農林大がより良い学校になるように努めていきたいです。



会長：飯塚 怜大 (森林コース)  
 副会長：平本 健流 (農と食のビジネスコース)  
 副会長：廣島 瑞己 (森林コース)  
 副会長：星野 琥太郎 (森林コース)  
 会計：渡邊 千紘 (花き・果樹コース)  
 書記：井上 芽維 (野菜コース)  
 書記：伊藤 竣大 (酪農肉牛コース)  
 総務：金田 真熙 (野菜コース)  
 総務：木村 優衣 (農と食のビジネスコース)

## 各種発表会等の出場者・受賞者の紹介

### ●令和5年度関東ブロック農業大学校等実績発表会

阿佐見 莉穂 花き・果樹コース2年 (優良賞受賞)  
 小林 友那 酪農肉牛コース2年  
 飯塚 愛美 花き・果樹コース2年  
 石川 愛奈 酪農肉牛コース1年

### ●令和5年度関東森林局森林・林業技術等交流発表会

石黒 青 森林コース2年 (審査員奨励賞受賞)



### ●令和5年度課題研究合同発表会

長谷川 桃花 野菜コース2年

### ●令和5年度関東農政局みどり戦略学生チャレンジ (グループ応募)

福田 恵人 }  
 木村 修人 } 農と食のビジネスコース2年  
 高橋 優心 } (準グランプリ受賞)  
 幕 翔太 }

# 研修部

## ぐんま農業実践学校

**野菜専門技術コース** 20代から60代までの幅広い年代の研修生21名が、実習を中心とした全70回の研修を通じて、農業経営に必要な知識と作物の栽培技術をお互いに協力し合いながら学び、全員が修了することができました。研修で得た知識や技術、出会えた仲間との縁を今後も大切にいただき、研修生の皆さんが、本県農業の活性化に向け、各地域の担い手として活躍されることを期待しています。

**有機農業コース** ぐんま農業実践学校では、今年度より「有機農業コース」を新設し、環境負荷を減らし持続的な農業生産を行うための有機栽培技術について、座学と実習で技術を習得しました。また、研修生同士で情報交換を行い、学びを深めました。本研修を修了した皆さんがそれぞれの地域で有機農業に取り組んでいただき、その地域の特性に合わせた有機栽培技術を確立し、有機農業の輪が広がっていくことを期待しています。



令和5年度「ぐんま農業実践学校」修了者

課程・コース		修了者数(人)
野菜専門技術コース		21
有機農業コース		23
野菜基礎技術コース	春夏野菜専攻	21
	秋冬野菜専攻	22
トラクター操作講座		14
農業体験講座		3

## 研修生の言葉



ぐんま農業実践学校  
野菜専門技術コース  
伊藤 仁美

「農業をやってみたい」から始まり、本当に自分のできるのか?などと思いながら実践学校にて研修が始まりました。一緒に勉強する仲間達の志の高さに最初は圧倒されましたが、皆さん気さくで和気あいあいと研修も進みました。

今後一人で黙々と作業したり、壁にぶち当たったりした時には、一緒に学んだ仲間を思い出したりして踏ん張れたらいいなと思います。

私のモットーは「楽しんで農業をやる!」。農業人生を楽しみたいです。



ぐんま農業実践学校  
有機農業コース  
村岡 さやか

農業の知識が全くなかった私にとって、毎回の授業はとても新鮮でした。中でも野菜作りをする上で土壌中の養分バランスが大切だということや、太陽熱消毒をすることで雑草や病原菌を減らせることなどを学びました。講義の後に実際に作業することで、農業の大変さや収穫の達成感などを味わえ、とても充実した時間となりました。

今後、新規就農を目指し、環境にも身体にも優しい野菜作りに挑戦し続けていきたいと思っています。

## 農業機械研修

本校では、農作業機械に関する研修の一つとして、農林大学校生を対象とした大型特殊免許(農耕車に限る)の取得に関する「大型トラクター基礎研修」を実施しています。研修は、校内に設置されている運転練習コースにおいて、大型トラクターの基本操作と安全な道路走行を学び、研修最終日に実施される運転免許試験に合格すると免許取得となります。また、研修カリキュラムには、トラクターにおける作業機の脱着・調整およびロータリー耕等の実践的な内容も取り入れています。

令和5年度も多くの学生が本研修を修了し、運転免許の取得とトラクター作業機の基本操作を学びました。この他に、けん引免許(農耕車に限る)を取得する「大型トラクターけん引研修」や刈払機、運搬車等の農業機械の安全利用を学ぶ「農業機械安全利用研修」といった様々な研修を実施しています。学生は、各研修を通じて免許や資格の取得、農作業機械の安全な取扱いを学習しています。



令和5年度「大型トラクター研修」実績

研修名	実施回数(回)	延べ受講者数(人)	延べ免許取得者数(人)
大型トラクター基礎研修	4	64	64
大型トラクターけん引研修	1	18	18

※農林大学校生、実践学校生のみの実績